


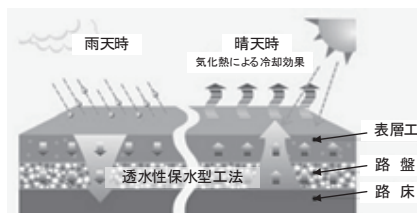
所属部門	安全・防災	
研究分野	土木工学, 建築学	専門分野 建築環境工学, 風工学, 建築設備
	野々村 善民 教授 環境都市工学科 建築環境研究室 nonomura@fukui-nct.ac.jp	キーワード 風環境, 新エネルギー, 都市洪水
		所属学協会・研究会 日本建築学会

研究テーマ

【水貯留地盤の研究開発】

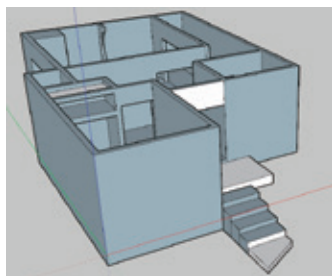
都市洪水が発生した際の避難時間を確保することを目的として、透水性と保水性を両立した地盤を用いて、水貯留地盤を開発します。

水貯留地盤の効果を明らかにするために、流体数値シミュレーションを用いて、地表面の水の流れを予測します。



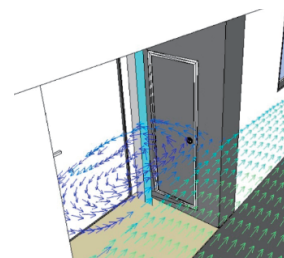
【画像測量による建築物の3Dモデル作成技術の開発】

本技術開発の目的は、既存の空家の現状調査に要する作業の省力化です。使用する機器は汎用のスマートフォンです。複数の画像データで得られた点群データと3D-CADを用いて、作業時間は3時間以下を目標とします。



【環境性能に配慮した建築計画に関する研究開発】

日本国内では、夏期の垂熱帯化により、飛翔昆虫による感染症の危険が高まっています。そこで、本研究開発では、建築物の形状により、外壁表面近傍の風の流れを制御し、室内空間において屋外からの危険性を抑えることを目的としています。



主要設備・得意とする技術

- ・熱流体数値シミュレーション Stream による流体解析
- ・河川氾濫シミュレーション iRIC による都市洪水の予測
- ・PickUp プログラムによる気象データの収集と各種統計解析
- ・CASBEE による建築物の環境性能評価

産官学連携や地域貢献の実績と提案

- ・水貯留地盤の開発
- ・公共施設における都市洪水対策の計画立案
- ・大規模公共建築物の風環境調査
- ・各種建築物の技術コンサルタントの実施